

月報 2020年 10月31日 No.357

石城山岳会

10月号

四方通信



石城山岳会事務局編集

木曾駒ヶ岳(2,956m)

にゅう(2,352m)・中山(2,496m)

黒斑山(2,404m)

焼石岳 1547.3m

武尊山(2,158m)剣ヶ峰山(2,020m)

石城山岳会 10月山行

谷地平湿原～東大巔～昭元山～烏帽子山～二ツ烏帽子山～家形山～一切経山

那須三山（朝日岳、三本槍岳、茶臼岳）

女峰山縦走

燧ヶ岳（俎ヶ岳 2,346m、柴安ヶ岳 2,356m）

会津駒ヶ岳（会津駒ヶ岳 2,133m、中門岳 2,060m）

雨飾山（1,963m）

木曽駒ヶ岳(2,956m)

2020年9月13日(日)

太・菊地・西・二瓶・外2

百名山「木曽駒ヶ岳」に行きたい、とのことで、駒ヶ根高原家族旅行村のケビンに前泊して山行。

バスセンター有料駐車場に車を置き、ジャンボタクシーでしらび平まで登り、さらに、しらび平駅から千畳敷駅まで、ロープウェーで登る。雨模様にもかかわらず、登山者が少なくはない。

千畳敷駅の外は一面の霧。弱いながらも雨も降っている。雨衣を着て歩き始める。しばらく行くと、カールの壁をジグザクに登る八丁坂。手すりや階段を過ぎ、登りきると乗越浄土。とたんに風も強くなる。

乗越浄土から左に進み、宝剣山荘の脇を通り、中岳に登る。雨が強くなり、中岳の大岩の陰で少し休憩。

中岳を下りた鞍部に頂上山荘があるが、すぐ近くにでも建物は霧でシルエット状態。山荘の前がキャンプ場にテントは1張もない。

鞍部から最後の登りをこなす。頂上には駒ヶ岳神社のほか、標柱や方位盤があった、それぞれの前で記念撮影したが、ガスが濃くて周りは何も見えない。すぐに下山を開始。

中岳まで戻る頃には、すっかり体が冷え、宝剣山荘で休憩。暖かい飲み物で暖を取ると生き返った心地。

乗越浄土から八丁坂を下る頃、一瞬ガスが流れ去り、カールの先に千畳敷駅が見えた。見上げると巨大な石塔となった岩峰がカールを取り囲んでいた。

カールの西寄りの遊歩道を千畳敷駅に向かい、ロープウェーで下り、バスで麓まで下山した。

文責：太

タイム

7:55 ロープウェー千畳敷駅→8:50 宝剣山荘→9:05 中岳→9:20 頂上山荘→9:35 木曽駒ヶ岳→10:20 中岳→10:40 宝剣山荘→12:00 ロープウェー千畳敷駅



にゅう(2,352m)・中山(2,496m)

2020年9月21日(月) 太・柏村・菊地・西

麦草ヒュッテを予約できたので、白駒池周辺、苔の森を散策しながら、周辺の峰を登ろうとなった。

麦草峠に向かう途中、登山口である白駒の池有料駐車場を通過したが、満車の状態。我々は、泊まるヒュッテに駐車し、部屋に荷物を置いてから出発。

ヒュッテ駐車場から園地脇を上り、樹林に入って、しばらく行くと苔の森が始まる。地を這う苔、岩を上る苔、倒木を覆う苔。幻想的な森が続く。道は有料駐車場からの道に合流して池へと続く。湖畔の白駒荘でゆっくりと昼食を取り、池を眺めて過ごす。

食後は白駒池に沿って少し歩き、「にゅう」に向かう。途中、小さな白駒湿原や苔むす森を抜け、急な斜面を登り切ると「にゅう」。「にゅう」は露岩のピークで三角点(三等三角点「乳岩」)がある。時おりガスがかかるが、青空の下で硫黄岳、天狗岳など素晴らしい眺めだった。薬師岳をバックに記念撮影。

「にゅう」から中山までは樹林で、展望箇所が少ない。中山の手前で樹林が切れたので「にゅう」を振り返る。樹林の上にとんがり岩が浮かぶ。中山山頂は樹林の中、中山展望台はガス、と眺望は少し残念。

高見石小屋に着くと、時間も遅かったので、丸山を経由して戻る予定を変更して、白駒池駐車場へ下り、国道を歩いて麦草ヒュッテへ戻った。

ヒュッテは、たっぷりのサラダにビーフシチューをメインにした豪華な夕食で、食後はゆったり入浴。翌日の山行への鋭気を養った。

文責：太

タイム

10:15 麦草ヒュッテ→11:15 白駒池(白駒荘) 12:25→13:45 ニュウ→15:05 中山
→16:30 高見石小屋→17:15 白駒池駐車場→17:30 麦草ヒュッテ



黒斑山(2,404m)

2020年9月21日(月) 太・柏村・菊地・西

浅間山は、火口から概ね2kmの範囲が立入禁止なので、外輪山の黒斑山に登った。

前泊した麦草ヒュッテから車坂峠登山口のある、高峰高原ホテル、ビジターセンター前に移動。車坂峠すぐ手前で見たハケ岳の雲海に浮かぶ姿は、非常に美しかった。駐車場は既に満車になっていた。路肩に駐車し、ビジターセンターで準備を整え、出発。表コースと中コースの分岐では表コースを選択。車坂山を登って下りると、槍ヶ鞘まではほぼ樹林の中の登り。登りきると視界が開けて、前掛山(浅間山)が目の前に、左手にトーミの頭が現れ、雄大な眺め。トーミの頭まで登ると黒斑山の山頂はもうすぐ。中コースへの分岐を過ぎて山頂。前掛山は、ガスがかかったり、切れたりで撮影チャンスが合わない。

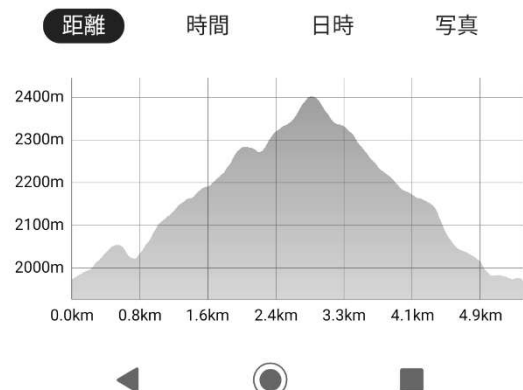
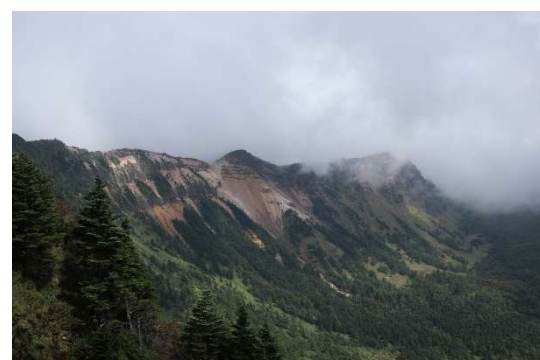
下山は中コースを使った。樹林の中をひたすら下る感じのコース。傾斜が急な場所、石が多い場所、水で道が掘りこまれている場所もあったが、危険はほとんどない。

下山後は、登山口の高峰高原ホテルで食事と入浴。その後、家路につく。

文責：太

タイム

9:15 車坂峠→9:30 車坂山→10:55 槍ヶ鞘→11:15 トーミの頭→11:35 黒斑山→12:10 トーミの頭→13:05 車坂峠



焼石岳 1547.3m

9月28日(月) 秋葉、渡辺敏夫

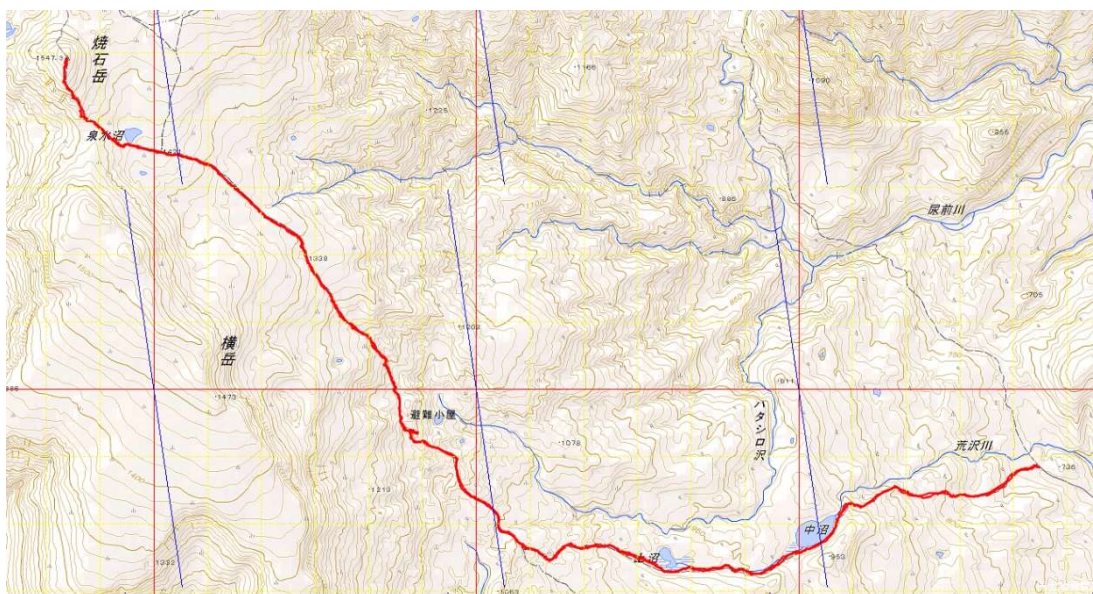


焼石岳山頂にて



中沼から焼石岳山頂方向を望む

27日に秋葉さんと中沼登山口から、焼石岳避難小屋に泊まって、次の日に二人で焼石岳に登る予定でしたが、秋葉さんの靴の底がはがれて焼石岳への登山をあきらめざるを得なくなり、私一人で焼石岳に出かけることにした。天気予報によると今日は天気が回復して晴れが望める予想だったが、天候の回復が遅く、残念ながらガスがかかり見通しがなく時折雨も降りだすあいにくの天気になってしまった。時折ガスが薄くなり木々の紅葉が時折目に入るが、残念ながらすぐにガスに包まれる。途中で朝食をとり1時間半ほどで山頂に到着した。何も見えないので証拠写真を撮りすぐ下山した。かなりの数の登山者とすれ違う。もし晴れて休日であつたら混雑が予想されそうである。頂上近くの木々の紅葉は少し早く、後一週間もすればきれいに色づく山肌が望めそうである。避難小屋に戻って荷物をまとめて下山した。悔しいことに天気が徐々に回復して、上沼や中沼を通過するころ焼石岳の山頂方向が望め、おそらく山頂からの眺望が楽しめたようで



ある。昨日の栗駒山や今日の焼石岳の東北の山は山容が穏やかで、紅葉の季節には楽しい山行が堪能できる。コースタイム 避難小屋

6:01→焼石岳山頂 7:25 7:30→避難小屋 8:36 9:00→中沼登山口 10:25

文責 渡辺敏夫

武尊山(2,158m) 剣ヶ峰山(2,020m)

2020年10月3日(土) 太

登山口に前泊して、人気の高い武尊神社登山口からの周回コースで、武尊山、剣ヶ峰を登った。

市内を前日21時に出発し、武尊神社前の駐車場に着いたのが翌午前1時過ぎ。水洗トイレのある舗装駐車場は既に満車に近い。朝起きると、道沿いの砂利敷き駐車場も満車になるところだった。

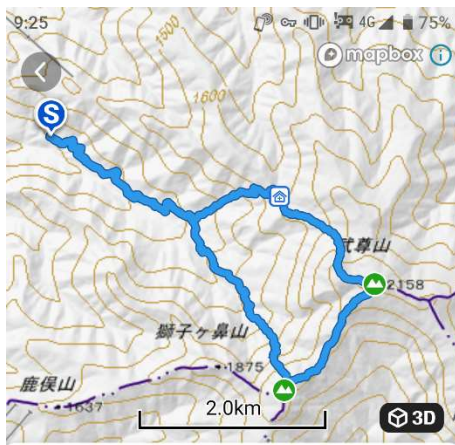
歩きだすと、すぐに武尊神社。舗装は神社前で終わり、その先は砂利敷きの林道。入口にクサリが張ってあり、それを越えて進む。林道終点駐車場には関西ナンバーが1台駐車していた。そこから先は、車が通れないゴロ石で荒れた道。さらに進んでいくと剣ヶ峰分岐が現れ、左の避難小屋方向へ樹林の中を登っていく。登りきると、尾根の上で上ノ原登山口からのコースに合流し、すぐ近くには手小屋沢避難小屋。しばらく行くと連続するクサリ場が現れる。登って進むと、樹林はなくなり、シクナゲの緩やかな尾根道の向こうに武尊の山頂が見えるようになる。花の季節に來れば美しさはいかばかりか。山頂に着き、周りをぐるりと見渡すと、雲に浮かぶ上州の山々。下って笹原と紅葉した灌木の尾根を剣ヶ峰山へ進む。剣ヶ峰山に登ると、目の前に武尊山が大きく迫る。剣ヶ峰からは、樹林の中急な斜面に足を滑らせながら下りると、大きな沢で渡渉。渡渉点からいくつもの小さな沢を越え、さらに高度を下げていく。剣ヶ峰分岐まで戻ると、そこからさらに林道歩き。神社の前を通過して駐車場に戻る。

無事下山できたことを、武尊の神様に感謝しつつ、どこへも寄らず家路に車を走らせた。

文責：太

タイム

5:45 武尊神社駐車場→6:15 林道終点駐車場→6:30 剣ヶ峰分岐→7:20 分岐(手小屋沢避難小屋)→8:30 クサリ場 8:50→9:20 武尊山 9:40(前武尊分岐)→10:40 剣ヶ峰山→12:00 渡渉点→12:35 剣ヶ峰分岐→12:45 林道終点駐車場→13:20 武尊神社駐車場



石城山岳会 10 月山行

谷地平湿原～東大巔～昭元山～烏帽子山～ニセ烏帽子山～家形山～一切経山

令和 2 年 10 月 3・4 日

秋葉信夫 小林憲児 芳賀一郎

10 月 3 日（土）

今回は、東大巔から家形山までの登山道が整備されたとの情報と「秋の谷地平湿原」で計画しました。午前 8 時頃、兎平駐車場を出発。姥ヶ原入口のゴロゴロ石分岐で右の鎌沼に進む、姥神石像のある姥ヶ原分岐で休憩。ここから樹林帯に入り、姥沢右岸を下りますが、滑りやすく注意が必要。枝沢を横切り、登り返してからまた下り、姥沢川を渡渉して、午前 10 時半、谷地平避難小屋に到着。夏に来た時には小屋周辺には様々な花が咲いていましたが、今回はない。小屋で休憩後、出発し、駕籠山稲荷神社分岐を右に谷地平湿原へ向かう。湿原から昭元山、烏帽子山が確認できる。湿原から下り、大倉深沢川を渡渉して大倉新道に入る。秋葉さんから、大倉深沢を登る（滝がない）と、家形山から一切経山の登山道に出ると教わった。大倉新道は登りで、前半は樹林帯の中で暗く、渡渉もあり、湿地でコースが分かりにくい。実際、倒木の目印に惑わされて一度道を間違えた。後半は、小さな川底の岩場を歩くようで、疲れしました。午後 1 時半、大倉新道谷地平分岐に到着し、休憩。東大巔は眺望なく、明月荘へ。寝床を決めてから、遠い水場で水を確保してから、明星湖を見る。



10 月 4 日（日）

午前 6 時 45 分、明月荘を出発。大倉新道谷地平分岐からの登山道は整備されていたが、狩り払いされた笹枝が滑りやすく注意が必要。午後 8 時 40 分、昭元山到着。山頂から谷地平湿原、烏帽子山が見える。昭元山は登りも下りも急である。午後 9 時 30 分、烏帽子山到着。山頂手前の登りは岩場が続く。午後 10 時 16 分、ニセ烏帽子山到着。途中、兵子（ひよつこ）山頂に立つ登山者が見えたが、今回はパス。午後 11 時 22 分、家形山到着。山頂では小雨にあったが、五色沼湖面に一切経山が映り込みや、家形山斜面の紅葉が綺麗でした。五色沼分岐までの急な斜面を下り、一切経山に登り返し浄土平を経由して、午後 2 時 7 分、兎平駐車場に戻る。

文責：芳賀一郎



那須三山（朝日岳、三本槍岳、茶臼岳）

2020年10月4日（日）・5日（月）

上遠野、蛭田（ミチ）、佐藤（幸子）

10月4日、水石トンネル駐車場、4時30分出発。那須峠の茶屋駐車場満車のため、ロープウェイ車場に車を駐車し登山開始。岩やザレ場を歩き、峠の茶屋跡避難小屋を通過し、朝日岳の急な岩場やクサリ場を通過し、三本槍岳の展望を楽しんだ後、茶臼岳の蒸気ガスと紅葉を見ながら、晴天下、写真を撮り、その後、三斗小屋温泉、大黒屋に3人で1泊しました。総行動時間、9時間を予定してましたが、ほぼ予定通り、登山出来ました。温泉に入り、ゆっくりくつろぐことができ、疲労を忘れました。翌日は、延命水を飲み、那須岳避難小山を通過し、峠の茶屋跡避難小屋で、小休憩をとり、茶臼岳山頂を目指しました。小雨が降ってきたと思ったら、あっという間に、強風と濃霧になり、自然の山の気候の変化に驚くばかりでした。皆で、カッパの上下を着用し、ゆっくり山頂を目指し、到着しました。3人で協力しあえば、危険を回避し、登山出来ることを実感しました。

文責：佐藤幸子

以前から、上遠野さんと一緒に、リハビリ歩きをしたいと思っていました。初日は、天気が良く、紅葉を眺めながら、ゆっくりゆっくり歩きで、2山登ることが出来ました。あとは、温泉宿を目指すだけです。、、、が、ここからが大変なことに、、、私の10年前の記憶が、ところどころ消えていました。「そこが最後の登りで、分岐が見えるはず。」、、、、「でも、見えない。」何度、皆をがっかりさせたことか。秋の彩りの森の中へ入り歩くこと2時間。宿到着時間も迫っていたので、三斗小屋温泉が見えた時には、ほっとしました。念願の大黒屋。湯舟は熱めの檜風呂です。のんびり浸り、疲れがとれました。2日目は、晴れのち曇り。茶臼岳の山頂からは、まっ白で、視界不良でした。

今回は、三斗小屋温泉大黒屋（一泊二食つき個室9800円のところ35パーセント引きで6500円）福島、栃木、群馬の3県で使えるクーポン券5000円分も頂き、GoToキャンペーンバンザイです。さっそく、下山後にお土産を買い、道の駅で、季節の野菜たっぷりのうどんをお腹いっぱい食べまし



た。おかげで超格安、満足度の高い山旅を楽しむことができました。

文責：蛭田ミチ

コースタイム

1日目 7:25 峠の茶屋—8:20 峠の茶屋避難小屋—9:20 朝日岳—10:20 清水平—北温泉分岐 11:30—11:50 三本槍岳—北温泉分岐—熊見曾根分岐—14:00 峰の茶屋避難小屋—14:30 牛ヶ首—14:55 姥ヶ平—沼原、三斗小屋分岐—15:55 沼原分岐—16:20 大黒屋
2日目 7:40 大黒屋—8:10 沼原分岐—8:15 延命水—9:30 峰の茶屋避難小屋—10:35 茶臼岳—11:30 峰の茶屋避難小屋—12:05 峠の茶屋



女峰山縦走

2020年10月5日（月）6日（火）栗崎夫妻・松本・永井・他1名
栃木の女峰山（2483m）、帝釈山（2455m）、小真名子山（2323m）、大真名子山（2375.4m）を一泊二日で縦走しました。

当初、下山田さん・秋葉さんも一緒に登山予定でしたが急遽車で待機に変更、お二人に見送られ霧降高原Pより出発。

出発点のここにしかトイレがないのでしっかり済ませて…
1445段ある階段をひたすらゆっくり登ります。

この階段を駆け上がってしまうと後々ですごく疲れるのだそうです。登りきるとその場所だけでもなかなか標高が高い！振り返って登ってきた階段を見ると蛇が地面を這っているように見えるのだとか。写真はイマイチです。

鹿よけのゲートを通ると一気に自然な山の風景に囲まれて本格的な登山の開始です。

途中、女の人の叫び声が！と思っていたら、鹿の鳴き声なのだそうで。びっくりしました。

赤薙山は巻いて通り過ぎ、奥社跡で小休憩。軽く行動食摂取。

その後1時間弱歩いて昼食。なんでも美味しいと感じられるのが素敵です。食事中、登山者の方と出逢い天候等の情報交換。

山頂付近は風が強く寒かったですがそれ以上に絶景でした！

西の方を見ると翌日に下っていく予定の帝釈山まで



の急な下りが…稜線も細いし怖そう…
存分に山頂を堪能

して避難小屋までをひたすら下ります。避難小屋までのガレ場
にかなり足を取られつつ小屋に到着。

朝に水場まで水汲みに行き、小屋で朝食を摂っていざ2日目出発
～昨日下りたガレ場が楽に感じられ、女峰山山頂到着、風は相変わらず強かつ

たですが例の細い稜線はいざ下ってみるとスリル満点で楽しかったです。



帝釈山までの下りが終わると小真名子山までの岩だらけの登りに変わり、こちらでも足を取られつつ踏ん張りつつやっていたため、温度調節で服を脱いだり着たりが大変でした笑

小真名子山から大真名子山に向かうコルの場所でお昼休憩を取り、いざ最後の大真名子山へ出発～

大真名子山頂もいい天気で気持ちよかったです。志津乗越まであと 200mあたりまで下ってくる頃には終わりが近づいていて寂しくなりました。

1 日目にパラッと雨には降られましたが終始天気には恵まれ、めでたく雨女の出番はなかったです。

初の泊りがけ登山でしたが何が必要かの見極めと足りなかった装備等を知るいい機会になりました。



コースタイム

1 日目 霧降高原 P7:05～小丸山展望台 8:41～赤薙山（付近）10:17～奥社跡 12:00～一里ヶ曾根 13:00～女峰山 14:05～唐沢避難小屋 15:33

2 日目 唐沢避難小屋 7:05～女峰山 8:00～帝釈山 8:53～富士見峠分岐 10:20～小真名子山 11:13～大真名子山 13:30～志津乗越 15:07

文責：永井

燧ヶ岳（俎嵯 2,346m、柴安嵯 2,356m）

2020年10月11日

小林 憲兒、美也子(会員外)



今年のGWに計画したものの、新型コロナの緊急事態宣言発令で断念した燧ヶ岳&会津駒ヶ岳へ行きました。今回も台風14号で少しか？と心配しましたが台風が南下してくれたおかげで雨に降られることなく、計画通りに登ることができました。

いわきをゆっくり出発し、白河ラーメン(2時間待ちでした)、道の駅きらら289(温泉と夕食)と道草しながら、道の駅桧枝岐で車中泊し、1日目は御池から燧ヶ岳。尾瀬沼は7月に行ったし、見晴からの周回は時間的に無理そうなので今回は御池からの往復としました。

天気は曇り、登るほどに雲の中で、俎嵯から柴安嵯が見えないほどでした。もちろん期待し

ていた尾瀬沼や会津駒への稜線の景色は見えず残念でしたが、広沢田代や熊沢田代の草紅葉はきれいでした(天気が良ければもっと輝くんでしょうが)。



前回は残雪の6月初め(1日)に登ったので、熊沢田代から俎嵯への印象(前回は雪の広い斜面をトラバースを含めて3か所程登ったような記憶でした)が違いました。今回雪の急斜面で断念した福島県最高峰の柴安嵯まで行けたので良しとしましょう。また、残雪期に登りたいと思います。

下山後はかぎや旅館さんへ、建物は古く(一番古いところはS33年の同じ年)歩くとギシギシ音がしますがよく手入れされていてコロナ対策もバッチリでした。一番乗りでお風呂も貸し切り、イワナと山菜料理にお酒を堪能しました。



御池登山口 5:50~6:45 広沢田代~7:35 熊沢田代~9:05 俎嵯~9:35
柴安嵯 10:30~俎嵯 11:05~熊沢田代 12:05~広沢田代 13:00~
13:50 御池登山口

(文責 小林 憲兒)

会津駒ヶ岳（会津駒ヶ岳 2,133m、中門岳 2,060m）

2020年10月12日

小林 憲兒、美也子(会員外)



2日目は会津駒ヶ岳へ。朝起きると雲はあるものの月や星も見え今日の天気を期待してワクワク感が募ります。

朝ごはんが6:30からだったので、イワナの一晩干しが食べられなかったのが少し残念ですがおにぎり弁当に変更してもらっていたので、朝風呂に入ってから滝沢登山口に向かいました。

滝沢登山口の駐車場も月曜日のためか6時少し前に到着した時点で6-7台。まだまだ余裕で駐車することができました。

会津駒ヶ岳は今回で3回目です。出だしの急登は雨の影響

もなく登りやすい道でしたが、傾斜が緩くなった箇所はぬかるみ箇所がたくさんありました。空も登るにつれてどんよりしてきましたが、所々色付いた木々の景色を楽しみながら駒の小屋が見えるテラスにたどり着き、朝ごはんにしました。

残念ながら駒の小屋から会津駒ヶ岳山頂はガスがかかっていたので駒の小屋で休憩せずにそのまま山頂に向かうと、山頂から中門岳に向けてはガスっておらずこれから歩く稜線が見えました。

やはり天空の稜線歩きが最高です。

中門岳(このあたり一帯の注記あり)を超

え、中門岳の山頂あたりまで行ってから駒の小屋で休憩し、下山しました。下山は頑張りました。

会津駒ヶ岳巻道の木道はスベリます。要注意です(今回は転びませんでした)。

駒の小屋周辺の木道は、ヘリで荷揚げして更新中でした。

今年は山頂ガスガス、下山すると晴天の山が多い、また次回に期待です。

滝沢登山口 6:20～水場 8:00～駒の小屋 9:45～10:05 会津駒ヶ岳 10:15～10:40 中門岳 11:00～



11:45 駒の小屋 12:30~14:30 滝沢登山口

(文責：小林 憲児)

雨飾山 (1,963m)

2020 年 10 月 25 日

猪狩

上越地方の気になっていた山の一つでした。紅葉時期の登山を検討していたんですけど、事前の気象予報、秋葉さん、ジャンダルム高倉さん一行と翌日に海谷三山も一緒できることになったので行ってきました。

移動は、24 日 16:30 磐越道 - 北陸道（糸魚川 IC）を使用。インター近くの 24 時間営業スーパー「マックスバリュ」で2日分の飲食料を調達。助かりました。23:00 登山口駐車場に到着。予報通り低温で寒かったですが、車中泊をとったので春～秋シュラフでも暖かく寝れました。

25 日 5:00 起床時点では雨が降っていましたが、6:00 には上がり晴れます。外へ出ると山頂は冠雪していました。準備をして 7:00 出発です。

薬師尾根の急登が続くものの、ぬかるみもなく快適な登りでした。1 時間程で所々見晴らしが効くようになります。海谷三山側、雨飾側の紅葉が楽しめました。

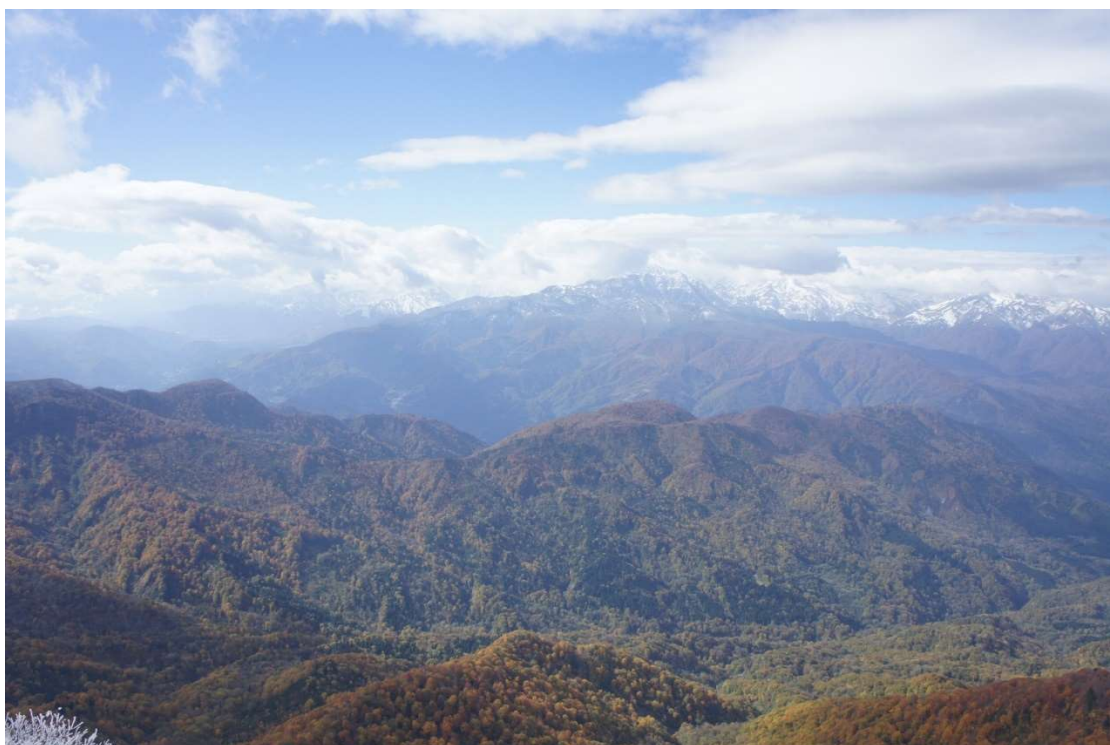


中の池の見晴らし付近から目測 10cm 程度の積雪がありました。雪の状態はフレッシュでグリップが効いたのでそのまま頂上まで行くことにしました。

分岐で小谷側からの大勢の登山者と合流。ほどなくして山頂直下に到着。積雪と登山客で山頂までのルートは混雑しました。



まずは南峰に登頂。雲もありましたが晴れていたため能登半島、海谷三山、焼岳、北アルプスがよく見えました。とくに白馬岳は冠雪していてきれいでした。眺望を楽しんでいると風が強くなってきたので、風下で昼食をすませ北峰に向かいました。こちらからは眼下の紅葉が楽しめました。



山頂直下の急登、混雑のため圧雪状態で滑りやすくなっていたので軽アイゼンを装着。このまま中の池まで降り、そこから脱いで下山しました。

給油のため山麓におりて帰ってくると三段紅葉というのが見れました。雨飾というより雪飾の山でした。

コースタイム: 雨飾山荘 07:21 - 中の池 09:01 - 10:00 雨飾山 11:37 - 中の池 12:25 - 雨飾山荘 14:24



文責：猪狩

山行報告 上越の山

凄まじい上り下りの連続 うみたに 海谷三山縦走

2020年10月26日(月) 秋葉信夫、猪狩正臣、(他6名)

雨飾山の西部に位置する駒ヶ岳(1487.4m)、鬼ヶ面山(1,591m)、鋸岳(1,631m)を「海谷三山」という。

「新版・新潟100名山」には「この海谷山塊は特に秋が素晴らしい。そして訪れた登山者を虜にしてしまうのが、鋸岳から鬼ヶ面山を経て駒ヶ岳に向かう縦走路である。ただし駒ヶ岳と鋸岳の間は険しい道で初心者は立ち入ってはならない。」と記してある。

1人で行くしかないのかなと考えていたが、猪狩さんとクライミングジム・ジャンダル



ムの高倉さんのグループが参加してくれることになり一安心。前夜、猪狩さんと雨飾温泉の駐車場で合流しテントを張り天気祭りを行う。

車2台を雨飾温泉に置き、2台に分乗し根知登山口に向かう。樹林帯の急登を登り岩壁のバンドを通る。北アルプスの山波が白く薄化粧をしているのがとても美しい。しかし、天気の良いのはここまでで、後はガスの中の行動となったが、雨が降らないだけでよしとしなければならない。尾根を辿ると駒ヶ岳頂上、ここでハーネス、ヘルメットを着ける。

駒ヶ岳からの下りで2人は足がすくんでこれ以上行けないと戻ることにし、6人はそのまま進むことにした。

登山道は整備されロープや鎖場、梯子取り付けられているものの、崩れやすい絶壁の上り下りの連続である。50mロープで懸垂下降をしたところもある。

海谷溪谷への分岐に着いたのもう安心と思ったが、名前の通り鋸歯は続き、鋸岳の下りには懸垂下降用のロープが取り付けられていました。

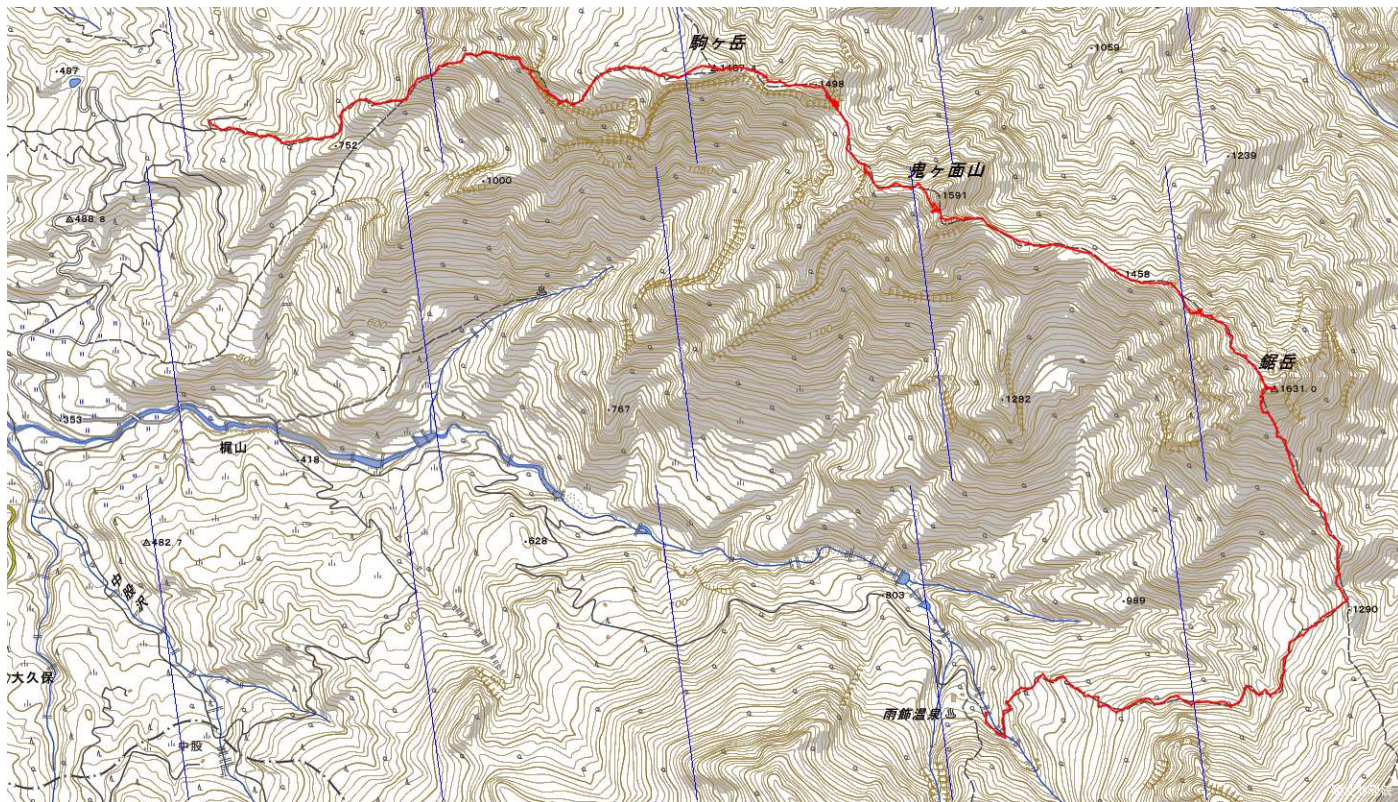
距離9.1km、累計度+1,726m、-2,331m、10



時間と険しい山で緊張の連続でしたが充実した山行を味わえました。小谷道の駅で入浴、車中泊。

コースタイム 登山口 6:50→バンド 8:00→駒ヶ岳 9:20→鬼ヶ面山 11:35→1458m 海谷溪谷分岐 12:45→鋸岳 14:10→分岐 15:35→雨飾温泉 16:45

(文責：秋葉)



焼山、火打山の展望台 金山 2,245m

10月27日 秋葉信夫

金山は妙高連峰の焼山と雨飾山の間位置している。連なる天狗原山とともに派手さはないが、豊富な雪と高山植物が自生し、まさに雲上の楽園といわれ、遠く不便だからこそ自然が残されてきた山である。

小谷温泉の雨飾山荘から林道を入ったところに登山口がある。

ブナの林の急登をジグザグに登る。やがて尖がり絶壁の雨飾山が見えてくる。

天狗原山からは展望が広がる。いったん下り登り返すと金山頂上。

焼山と火打山が目の前に、火打の右肩には高野池とが



1,900m 付近からの雨飾り山

輝いている、ヒュッテもはっきり見える。その下には笹ヶ峰、乙見湖。奥には妙高山、黒姫山、高妻山、戸隠山、北アルプス等が今まで見たことのない方向から望むことができた。

一昨日の雪で 1,900m 付近から雪が出てきて、2,000m からは完全な雪、それでも天狗原山までは 1 名の踏み跡があったので良かったが。それから先は 20 cm 位の雪でも一歩ごとに沈み込み大変だった。でも、それ以上のものがありました。

献上温泉で入浴、雨飾温泉駐車場で車中泊。



天狗原山から 金山



金山から 焼山

火打山

高野池

コースタイム 登山口 6:10→1,741m 7:30→1,949m 8:15→天狗原山 9:20→金山 10:10~25→天狗原山 11:10→1,949m 11:55→1,741m 12:45→登山口 13:40

距離 10.1 km、累計標高±1,323m。

雨飾山 1963.2m

10月29日 秋葉信夫

雨飾山には何度か登っているがいつも小谷温泉側からだったので、今回は雨飾温泉から登り、一昨日と、昨日に登った山をじっくり眺めてきました。累積標高±1,022m、登り3時間30分、下り2時間30分。

雨飾温泉で入浴、明日の明星山登山に備えて、登山口近くのヒスイ狭で車中泊したが雨のため明星山は中止とする。

文責：秋葉信夫